

研究課題 学校関係者評価委員が評価活動に参画する手だてを試し、その評価結果を改善方向へ生かす取組に係る実践研究

統合再編し新設校として開校した学校における学校評価

札幌市立もみじの丘小学校

I はじめに

学校改善に資する学校評価の取組

1 本校における学校評価のねらい

- (1) 学校教育目標及び今年度の学校経営の重点目標、重点、具体策を、今年度の実際の学校運営において点検・評価し、改善点を明らかにする。
- (2) 児童の実態、保護者、校区内に住む地域住民の願いを把握する。
- (3) 学校評価システムの確立と学校運営の改善を目指す。

2 開校1年目の学校評価の取組

- (1) 短期的な展望にたった学校評価（行事評価）
- (2) 中間評価
 - ① 保護者・児童アンケートを基に各学年・各校務分掌で評価し、改善点を明らかにする。
 - ② 改善点は、学校だよりや学校ホームページにより保護者・地域住民に伝える。
 - ③ 保護者・児童アンケートの評価計画と評価項目の検討。（4月1日まで）
 - ④ 学校だより（4月6日発行）で、学校評価の評価項目を保護者・地域住民に伝える。
- (3) 年度末評価
 - ① 教職員による個人評価、各部・各特別委員会の評価、各学年・各学級の評価を基にした学校評価全体会により改善点を明らかにする。（内部評価）
 - ② 評価計画、評価項目の検討。（4月1日まで）
 - ③ 児童、保護者、地域住民、学校関係者評価委員会、教職員の内部評価の評価項目は、今年度の学校経営の重点目標、重点から考える。
- (4) 外部評価
 - ① 自己評価の評価書の作成（4月1日まで）・点検・評価・改善を学校ホームページに掲載する。（学校関係者評価委員へ連絡）

評価項目を年度当初に周知

II 本校の学校関係者評価

熱き思いで
子どもらを
知っていただく
皆様に

1 これからの取組に向けて

本校の学校経営の理想は、教職員が熱き思い、情熱、夢と理想をもち、意図的・計画的に児童を育て、このことが保護者や地域住民に伝わり、信頼を得て、地域のコミュニティの中心となることである。

2 学校関係者評価の円滑な実施に向けた取組

学校関係者評価委員会等を活用し、主体的に教育活動の改善に取り組む「常に改革ありき」の学校づくりを目指し、学校の教育力を強化する。

Ⅲ 学校評価の一年間の流れ

	自己評価			学校関係者評価
	学校（教職員）	児童	保護者・地域	学校関係者評価委員会等
4	学校経営方針 重点目標・重点・具体策 運営計画決定・評価内容決定	児童集会 児童集会①	学校説明会 参観懇談 家庭訪問	学校説明会
5	学年・学級経営交流会①	全校朝会	参観懇談	
6		全校朝会 ほめほめカード	運動会	運動会
7	学年・学級経営交流会②	全校朝会 児童集会②	参観懇談	全校朝会 学校関係者評価委員会①
8	中間自己評価書の作成	全校朝会		
9	学年・学級経営交流会③	児童集会③	参観 総合防災訓練	丘っ子集会 学校関係者評価委員会②
10	アンケート結果の分析・改善 内容の報告	全校朝会 アンケート ほめほめカード	アンケート 参観懇談学 習発表会	学習発表会
11	自己評価書の作成	全校朝会	個人懇談	全校朝会 学校関係者評価委員会③
12	各部・各特別委員会 学年・学級経営全体会④	全校朝会 ほめほめカード 児童集会④		
1	学校評価全体会		参観懇談	
2	学校経営方針 各部・各特別委員会 学校運営全体会	全校朝会 児童集会⑤	参観懇談学 校報告会	全校朝会 学校関係者評価委員会④
3	学年・学級経営全体会⑤ 自己評価書・学校関係者評価 書の公開	全校朝会 ほめほめカード		卒業式 学校関係者評価書作成

IV 学校関係者評価の具体

統合再編における 委員選考

1 学校関係者評価を機能させる手だて

(1) 組織体制の工夫

本校では、学校評議員4名(旧3校区内町内会代表3名、民生・児童委員1名)、地域住民代表(連合町内会会長1名)とPTA代表1名(PTA)会長の6名で構成している。

(2) 委員選考に当たっての留意点

3小学校区の統合再編に伴い新設校として開校するに当たり、役員選考においては、各3小学校区内の町内会会長の代表1名ずつ、地域を周知している民生・児童委員1名と連合町内会会長1名、学校を代表して現PTA会長を選考し、お願いしている。それぞれの立場から幅広い視点で評価していただけるように留意している。



(3) 学校関係者評価委員の働きかけの具体

子どもの姿を通して

① 積極的に評価活動へ参画できるための工夫

学校関係者評価委員会当日は、まず全校朝会を参観し子どもたちの様子を見ていただき、その後に委員会を開催している。また、事前に資料となるような学校発行プリント類を配付し、各学校行事への参観の案内をしている。

② 来校機会・情報提供の数

- ア 7月 全校朝会参観 学校経営方針・重点の説明
- イ 9月 学習・全校児童集会・総合防災訓練の参観
- ウ 11月 全校朝会参観 児童・保護者アンケートの結果提示
- エ 2月 全校朝会参観 自己評価書の結果提示 学校関係者評価

(4) 学校関係者評価の実際

① 評価方法の説明

4月当初に学校評価項目(児童、保護者・地域住民、教職員、学校関係者評価委員会)を周知し、1年を通して観点をもちながらしっかりと評価いただけるように提示した。また、評価については、4段階(A:十分満足、B:満足、C:改善の方向、D:不十分)で行うことを説明している。

② 中間評価の実際

9月に開催した、土曜参観・全校児童集会・総合防災訓練では、学校が目指していることを子どもの姿を通して参観いただくことができた。その中でも、全校児童集会「丘っ子集会」では、児童・保護者・地域が一堂に介する集会となり、まさしく本校の子どもたちが地域の中で育っていく様子をも感じ取っていただけるものとなった。

③ 教育活動の成果と課題の明確化

「ひたむきに頑張っている子ども、挨拶がきちんとできる子ども、活発で元気に行動している子ども、このような子どもたちの姿を見ると、大変うれしくなります。」と、言葉をいただいた。子どもの姿を通して評価していただくことが、最善の方法であると考えている。



2 学校関係者評価の結果から学校運営の工夫・改善へつなげる方策

(1) 学校関係者評価の結果から改善の方向を検討

本校では、児童・保護者アンケート等を基に、教職員の自己評価書から学校評価全体会で討議し改善の方策をまとめ、学校関係者評価を受ける。その後、学校

長の学校経営方針案を柱に、各部会で学校運営計画を進めている。

(2) 次年度の学校運営計画に反映した計画を報告

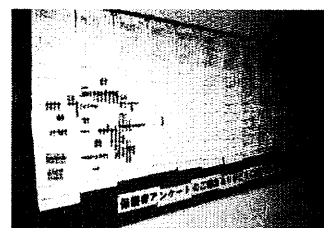
2月末の学習参観懇談時に学校報告会を設定し、今年度の報告と次年度の学校運営計画を提示する場を設けている。

V 自己評価及び学校関係者評価結果の公表

1 公表の方法

本校では、評価結果の公表を以下の方法で行っている。

- ・学校報告会で説明
- ・学校だより
- ・学校ホームページ
- ・保護者アンケートを校内に掲示
- ・アンケートに対する詳細を説明



2 公表の効果

新設校ということで、保護者や地域住民からの関心が高く、統合再編し教育活動がどのように編成されているのか詳細の分かるプリントも配付し、より深く理解していただけるようにした。また、校内に保護者アンケートを掲示したことで、保護者や地域住民のみならず、児童も目を通していった。多くの目に触れることで、保護者アンケートの回収率のアップにもつなげることができた。

VI 成果と課題

1 成果

- ・開校ということもあり、学校評価をどのような方法で進めていけばよいのか、手探りではあったが、改めて新しい歴史を築くべき大きな期待が寄せられていることが分かった。学校関係者評価を学校参画の一つとして学校運営計画につないでいく流れをつくることができた。
- ・年度当初に学校評価項目を周知したことは、1年間の教育活動について視点をもってしっかりと見ていただくためにも有効的であった。

2 課題

- ・学校関係者評価委員の方から受けた評価を、どう学校運営の工夫・改善に位置付けていくべきなのか、学校として、PDCAのサイクルを活用し、組織的・継続的な改善を図る必要がある。
- ・今後の学校評価委員の選定に当たり、あらゆる角度から評価いただくためにも、様々な方面の方々に評価をいただくことが望ましい。その運営の工夫もしていきたい。

【参 考 文 献】

- ・「学校評価ガイドライン」 文部科学省
- ・「札幌市の学校評価」 札幌市教育委員会
- ・「学校評価の充実のための実践研究」 札幌市教育委員会

資料1 【学校評価（評価項目）】

		児 童	保護者・地域住民	教職員	学校関係者 評価委員会
教育 計 画	熱き思いの子	自分の思いをもちながら心をひとつに活動できたか。	自分の思いをもちながら心をひとつに活動していたか。	熱き思いを大切にし、心をひとつに活動できる子に育てられたか。	熱き思いの子を育てていたか。
	やさしい子	心が落ち着き、友達と温かい人間関係をつくれたか。	心が落ち着き、友達と温かい人間関係をつくっていたか。	児童が安心して学校生活をおくり、心やすらぐ温かい人間関係をつくらせることができたか。	やさしい子を育てていたか。
	分かち合う子	努力する喜びやできた喜びを、友達と分かち合うことができたか。	努力する喜びやできた喜びを、友達と分かち合うことができていたか。	児童が努力する喜びやできた喜び等を、分かち合わせられたか。	分かち合う子を育てていたか。
	活動する子	のびのびと活動できたか。	のびのびと活動していたか。	児童がのびのび活動できる場を設定できたか。	活動する子を育てていたか。
	学習する子	粘り強く何度も繰り返しながら、学習できたか。	粘り強く何度も繰り返しながら、学習していたか。	きめ細やかな指導で、基礎・基本的内容が確実に定着させられたか。	学習する子を育てていたか。
	表現する子	自分から学ぶを意欲を高め、表現できたか。	自分から学ぶを意欲を高め、表現できていたか。	自ら学ぶ意欲を高め、自己表現力・想像力を養う授業ができたか。	表現する子を育てていたか。
教職員	高め合う教職員集団	先生の話をしっかり聞き、学びを広げることができたか。	先生の話をしっかり聞き、学びを広げることができていたか。	心のゆとりがあり、教育活動の活性化を図れたか。	高め合う教職員集団であったか。
	信頼される教員	先生に相談することができたか。	先生に相談することができていたか。	資質を高め、指導力の向上を図れたか。	児童や保護者から信頼される教員であったか。
地域住民 保護者	積極的な情報の発信	地域の方やお家の人に、自分の頑張る姿を見せることができたか。	地域の方やお家の人に、自分の頑張る姿を見せることができていたか。	教育活動の様子や情報を分かりやすく正確に伝えられたか。	教育活動等の情報を積極的に発信していたか。
	参観・参加協力・支援	地域の人やお家の人と挨拶を交わしたり、感謝の気持ちがもてたか。	地域の人やお家の人と挨拶を交わしたり、感謝の気持ちがもてていたか。	教育活動に参観・参加、協力・支援等をいただけるよう働きかけられたか。	教育活動に保護者や地域住民が参観・参加、協力・支援等を働きかけていたか。
環境安全	児童の安全	危険から自分の身を守る方法を知り、行動することができたか。	危険から自分の身を守る方法を知り、行動していたか。	危機予知能力・危機回避能力を育てられたか。	児童の安全が守られていたか。
	学習環境の整備	清掃・美化活動に積極的に取り組めたか。	清掃・美化活動に積極的に取り組んでいたか。	学習環境の整備と工夫をし、充実させられたか。	学習環境は整備されていたか。

平成23年度 自己評価及び学校関係者評価書

平成24年 月 日
札幌市立 もみじの丘小 学校

1 本年度の重点目標

熱き思いで 子どもらを 知っていただく 皆様に

2 本年度の経営方針

- ・熱き思いの子・やさしい子・分かち合う子・活動する子・学習する子・表現する子を育てる教育計画
- ・学び合い高め合う教職員集団、信頼される教師
- ・保護者や地域住民への働きかけ
- ・計画的な環境整備と安全

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自 己 評 価		学 校 関 係 者 評 価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
教 育 計 画	熱き思いを大切にし、心をひとつに活動できる子に育てられたか。				
	児童が安心して学校生活をおくり、心やすらぐ温かい人間関係をつくらせることができたか。				
	児童が努力する喜びやできた喜び等を、分かち合わせられたか。				
	児童がのびのび活動できる場を設定できたか。				
	きめ細やかな指導で、基礎・基本的内容が確実に定着させられたか。				
	自ら学ぶ意欲を高め、自己表現力・想像力を養う授業ができたか。				
学校関係者評価委員による意見					
教 職 員	心のゆとりがあり、教育活動の活性化を図れたか。				
	資質を高め、指導力の向上を図れたか。				
学校関係者評価委員による意見					